

平成29年度鳥取県衛生環境研究所調査研究外部評価対象課題

| | 担当室・チーム | 評価及び審査の区分 | 課題名 | 概要 | 実施(予定)年度 |
|---|----------|-----------|-------------------------------------|---|----------|
| 1 | 大気・地球環境室 | 最終 | PM2.5濃度の短期予報精度の向上に関する研究 | 県民向けにPM2.5に関する注意喚起(当日の濃度予測)を行っているが、その情報発信の精度を上げることを目的に、過去のデータにより予測モデルを作成した。 | H28年度 |
| 2 | 保健衛生室 | 最終 | 糞便中の食中毒原因菌等の遺伝子を検出する迅速検査法の実用化に関する研究 | 食中毒発生時における原因究明及び健康被害の拡大防止のための糞便検査において、これまでの培養法に代わる検査法として、H26年度までに開発した遺伝子検査法の実証試験を行い、行政検査として導入された。 | H27~28年度 |
| 3 | 水環境対策チーム | 最終 | 東郷池の環境改善に向けた水生植物の再生に関する研究 | 東郷池の地域重要種であるセキショウモの再生・保全技術の確立を目指し、セキショウモの生育阻害の要因抽出し、生育適地を選定した。試験移植によりシードバンクからのセキショウモの定着させることができた。 | H27~28年度 |
| 4 | 化学衛生室 | 最終 | 試験精度向上に向けた農薬等標準液の安定性評価 | 食品の残留農薬等の試験に用いる標準溶液の保存期間設定の根拠となる安定性評価を行った。 | H28年度 |
| 5 | リサイクルチーム | 最終 | レアメタル等希少金属の再資源化に関する研究 | 廃小型家電、ガラス類等に含まれるレアメタル等の希少金属のリサイクルを進めるため、次の研究を行った。 (1)還元分相・揮発分離法によるレアメタル分離技術の開発 (2)湿式分離法の開発:乾電池鋳滓(マンガン)を利用した金の溶解 (3)粉碎処理による金属の分離 | H26~28年度 |
| 6 | リサイクルチーム | 最終 | 廃棄物・循環資源のリスク管理のための新規試験法の開発 | 廃棄物の最終処分や再生製品による環境影響の管理の徹底、再生製品の安心・安全確保を目標として、次のことを行った。 (1)廃棄物再生製品の製造施設、廃棄物最終処分場等の現場において、日常的な廃棄物や再生材等の品質管理のための迅速溶出試験法の確立 (2)長期的なリスク評価のための新規の再生製品の安全性評価法(アベイラビリティ試験法)の確立 | H26~28年度 |
| 7 | 水環境対策チーム | 中間 | 湖山池の汚濁機構解明 | 水質モニタリング等を行い、水質汚濁の要因分析を行うとともに有害プランクトンの増殖特性の把握を行い、今後の湖山池の望ましい姿を目指した施策に繋げる。 | H28~30年度 |
| 8 | 水環境対策チーム | 中間 | 工学的手法を取り入れた湖沼の環境モニタリング技術の開発 | 安価なセンサーを利用した、湖沼の常時監視システムを開発し、広域的な湖沼モニタリングの効率化を図る。 | H28~30年度 |
| 9 | 保健衛生室 | 事前 | 保育施設ノロウイルス汚染実態調査に関する研究 | 保育施設内のウイルス汚染状況を検査し、適切な清掃・消毒を指導するとともに情報を共有し、感染症発生予防の向上を図る。 | H30~31年度 |

平成29年度鳥取県衛生環境研究所調査研究外部評価対象課題

| | | | | | |
|----|----------|----|--------------------|--|----------|
| 10 | リサイクルチーム | 事前 | 焼却残渣の資源化及び無害化技術開発 | <p>焼却主灰の再資源化を目的として次の研究を行う。</p> <p>(1) 焼却主灰の新規無害化技術の確立 (2) 品質管理手法の確立 (3) 環境影響の評価</p> <p>また、焼却飛灰について、有害物質の不溶化技術の開発を目的として次の研究を行う。</p> <p>(1) 重金属の不溶化技術の確立 (2) 難分解性有機物による浸出水への影響の評価 (3) カルシウム等の溶出特性の評価</p> | H30～32年度 |
| 11 | リサイクルチーム | 事前 | 管理型最終処分場の安定化に関する研究 | <p>産業廃棄物、一般廃棄物の飛灰を対象として、</p> <p>(1) 飛灰の埋立処分場浸出水への影響の分析 (2) 処分場内における重金属類の安定化メカニズムの解明 (3) 新規の不溶化技術の効果 (4) 安定化促進のための技術的な検討（覆土材料等）を進める。</p> | H30～32年度 |
| 12 | リサイクルチーム | 事前 | バイオマス資源の燃料特性に関する研究 | <p>県内にある様々な未利用資源の利用を促進するために、県内の未利用資源の燃料特性（熱量、燃焼灰の発生量等）の把握を行い、データベース化する。</p> <p>また、簡易分析による燃料特性の推定方法を確立する。</p> | H30～32年度 |